

資料3

新たな 都立中央図書館整備に 係る有識者会議 (第4回)

令和8年3月6日



【目次】

- 1 将来像に基づき提供するサービスや設備について
- 2 基本方針案の構成について
- 3 その他

1 将来像に基づき提供するサービスや設備について

新たな図書館が目指す将来像について

- ・神宮前五丁目地区まちづくりの軸として役割を果たし、コンセプトである「Library for Creation」を実現していくため、新たな図書館が目指す将来像を整理
- ・世界都市である東京の図書館として、様々な知と出会える、学びを深められる、自然を感じられるリラックスした空間で、誰もが創造活動に取り組める場所を形成し、人々の創造性を育む

【4つの将来像】

世界都市東京の「知の広場」となる図書館

- ・まちの機能との連携や産業界・学术界・観光客等、東京に集まる多様な人々との共創により、様々な知との出会いや交流を促進
- ・最新のデジタル技術を用いながら、中央図書館の所蔵資料を活用し、江戸・東京の歴史文化を伝達
- ・世界都市東京にふさわしいシンボリックな図書館

知を広げ、学びを深められる図書館

- ・多様な学びができる仕掛けを備え、一人一人の興味や関心を喚起する
- ・専門的な知識に基づくレファレンスサービスの提供により、課題解決を支援
- ・都内の区市町村立図書館との連携協力や、デジタル技術を活用したサービスにより、遠方からでも所蔵資料にアクセス可能

自然と調和した緑と水の憩いの図書館

- ・緑地や琵琶池、敷地内の高低差等、渋谷駅周辺で当地区が持つ貴重な自然環境を生かし、人々が憩い集える
- ・人々が気軽に立ち寄ることができ、開かれた空間で居心地良くリラックスして過ごせる
- ・可変的で柔軟性のある、余白を持った空間

誰もが創造・発信が生み出せる図書館

- ・子供から大人、障害者など、誰もが多様な創作に取り組むことができ、その成果を図書館で発信できる
- ・時代の変化やニーズに合わせ、デジタル技術を活用したサービスを提供できる仕掛けを備える

Library for Creationと将来像との関係について

- ▶ 新たな図書館では、人々に知との出会いや学びを提供するとともに、クリエイションを引き出し誰もが創造・発信できる空間・設備を備えることで、コンセプトであるLibrary for Creationを実現していく

“Library for Creation” (創造・交流図書館) を実現

将来像がもたらすクリエイション

「様々な知と出会い、
クリエイションを広げる」

「学びを通じて、
クリエイションを深める」

「居心地の良い空間が
クリエイションを引き出す」

「誰もがクリエイション
できる」

将来像

世界都市東京の
「知の広場」となる図書館

知を広げ、学びを
深められる図書館

自然と調和した
緑と水の憩いの図書館

誰もが創造・発信を
生み出せる図書館

付加する
3つの機能

①知的好奇心を喚起し、学びを深める ②人々の創造や交流を生み出す ③多様な知を集積・発信

+

従来の強み

江戸東京の貴重資料を含む豊富な蔵書、司書の高度な知識に基づくレファレンス、国内随一の資料保全技術 等

将来像に基づき提供するサービスや空間（イメージ）

世界都市東京の「知の広場」となる図書館

（１）まちの機能との連携や産業界・学术界・観光客等、渋谷に集まる多様な人々との共創等により、様々な知との出会いや交流を促進

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 劇場の公演内容に合わせた企画展示、国連大学とのワークショップ、はたらく女性の社外メンター講演、スタートアップ企業による最先端技術のデモンストレーションなど、神宮前五丁目地区のまちの様々な導入機能による連携プログラムに参加
- ・ VRなどのデジタル技術を用いた五感で感じる絵本の世界、本の世界を音楽で表現するコンサートなど、多様な体験ができるプログラムに参加
- ・ 海外図書館や大使館との連携イベント等に参加

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 様々なプログラムが展開できるオープンなスペースを設け、そこで神宮前五丁目地区のまちに導入される様々な機能（劇場機能、起業支援機能等）、研究機関、企業、教育機関等と連携した企画を開催
- ・ 五感を刺激する様々なプログラムが提供できる空間や設備を整備

（２）所蔵資料を活用し、江戸・東京の歴史文化を伝達

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 江戸・東京関連の貴重資料のデジタル展示を閲覧

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ VRやARなど最新のデジタル技術を用い、江戸東京関連の貴重資料を提供

（３）世界都市東京にふさわしいシンボリックな図書館

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 魅力的な外観や内観に興味関心が湧き、観光名所として訪れたいくなる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 東京の新たなランドマークとなる、特徴的で魅力的な建築デザインとする
- ・ デザイン性と利便性を兼ね備えた施設



出典：
ヘルシンキ中央図書館
公式HP



出典：
石川県立図書館
公式HP

(1) 一人ひとりの興味や関心に合わせ、多様な学びができる仕掛けを用意

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 司書による企画展示やテーマ別配架等を見て、思いがけない本と出会い、新たな発想や発見が浮かぶ
- ・ 静かに学ぶ、ラーニングコモンズで相談したりディスカッションするなど、多様な学び方ができる
- ・ 探している本の取り出しや複写など、図書館サービスが快適に利用できる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 見る人にインスピレーションを与える、時世を捉えた企画展示や、新たな興味が湧くテーマでの配架
- ・ 一人で集中する、仲間と話をする、くつろげる等、多様な形態の閲覧席
- ・ 出納、閲覧、複写をスムーズに行える動線やバックオフィスを構築

(2) 専門的な知識に基づくレファレンスによる課題解決支援

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 司書によるレファレンスサービスにより、課題解決のきっかけを得られる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 司書による高度なレファレンスサービスや、内容に応じた専門機関等への紹介を行い、来館者の課題解決をサポート
- ・ 都内区市町村立図書館への協力貸出など、地域全体での資料や情報、技術の共有により、都民の課題解決に寄与
- ・ 司書の専門性を高めるための様々な研修を実施

(3) デジタル技術を活用した非来館サービスの充実

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ デジタル技術を活用し、資料に遠隔地からいつでもアクセスできる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 貴重資料等のデジタル化やデジタルアーカイブ等の強化
- ・ オンラインでのレファレンス対応の強化や、ロボットを活用して図書館内の見学ができる等、来館しなくとも、図書館を体感できる環境を整備



館外から閲覧可能なデジタルブックシェルフ、デジタルアーカイブ等

(1) 緑地や琵琶池等、渋谷駅周辺では貴重な自然環境を生かすともに、気軽に立ち寄れる、開かれた居心地良い集える場

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・自然を感じられる空間でリフレッシュできる
- ・緑に囲まれた落ち着いたカフェやレストランで、のんびりできる
- ・自然を眺めながらゆっくり読書ができる
- ・「迎え入れられている」「開放的である」と感じ、思わず図書館に入りたくなる
- ・神宮前五丁目地区のまち中のあらゆる場所で、スマホ等でイベントに関連した本の一節に触れ、関心が深まる
- ・様々なルートで図書館にアクセスでき、その時その時で違う気分が1日を過ごすことができる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・琵琶池周辺の自然を感じられるくつろぎの空間の演出
- ・緑を眺めながら休憩をしたり、読書をしたりできるカフェ等を配置
- ・図書館を目的地としない来訪者もふらっと立ち寄れる居心地の良い、屋外とシームレスにつながる空間
- ・まちの他機能でもデジタル技術を使い、図書館の情報を発信

(2) 可変的で柔軟性のある、余白を持った空間

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・参加するプログラムに合わせて、多様な使い方ができる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・様々な活動が可能となるオープンなイベントスペースや展示スペースを設ける
- ・利用者の活動や提供するプログラムに合わせてレイアウトを変更できる可動性のある什器や壁にする

(1) 時代の変化やニーズも踏まえながら子供から大人、障害者など、誰もが新たに創作できる

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・江戸や世界のレシピ本を再現した料理や、神宮前五丁目地区に新たに整備される劇場の公演内容にちなんだメニューを作ったり食べたりできる
- ・江戸時代の遊び道具を活用し、楽しみながら文化や言葉に触れられる
- ・撮影や動画編集など、デジタル機材を使い創作ができる
- ・読む、見る、触る、聞く等、様々な形で本に触れられる
- ・子供や障害者等、利用者の特性に合わせて様々なプログラムが体験できる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・すべての人が、演技・演奏・撮影・編集・工作・調理等、幅広い創作活動ができる環境を整備
- ・デジタル技術も活用し、子どもたちの興味・関心が見つかるきっかけとなるような遊びを通じた様々な体験を提供
- ・画材、文房具、楽器関連等、創作活動等に必要な物品が調達できるショップ等を設ける

(2) 誰もが様々な形で発信・発表ができる場

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・おすすめ本を紹介したり、創作の成果品を展示したり、普段発表する機会が少ない人も気軽に発信できる
- ・3Dプリンターで本のワンシーンを再現し、利用者同士でイメージの違いを伝え合う
- ・学んだ成果や創作したものを残すことができる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・作品や研究成果等の展示・発表や商品の体験会等ができる空間を提供
- ・コンテンツの規模や内容に応じ、広さや座席形態を調整できる空間を整備
- ・利用者の学びの成果をアーカイブできる環境を用意
- ・利用者の図書館での活動が自然と他の来館者の目に見える視認性の高い空間

利用者がCreationを生み出す行動プロセス（イメージ）

知と出会う→興味を持つ

様々な知との出会いをきっかけに、知りたい、やってみたいというインスピレーションが喚起される

興味を持つ→学ぶ

自身の興味のある領域やテーマを見つけ、人との対話や図書館にある様々な知を活用し、学びを深めていく

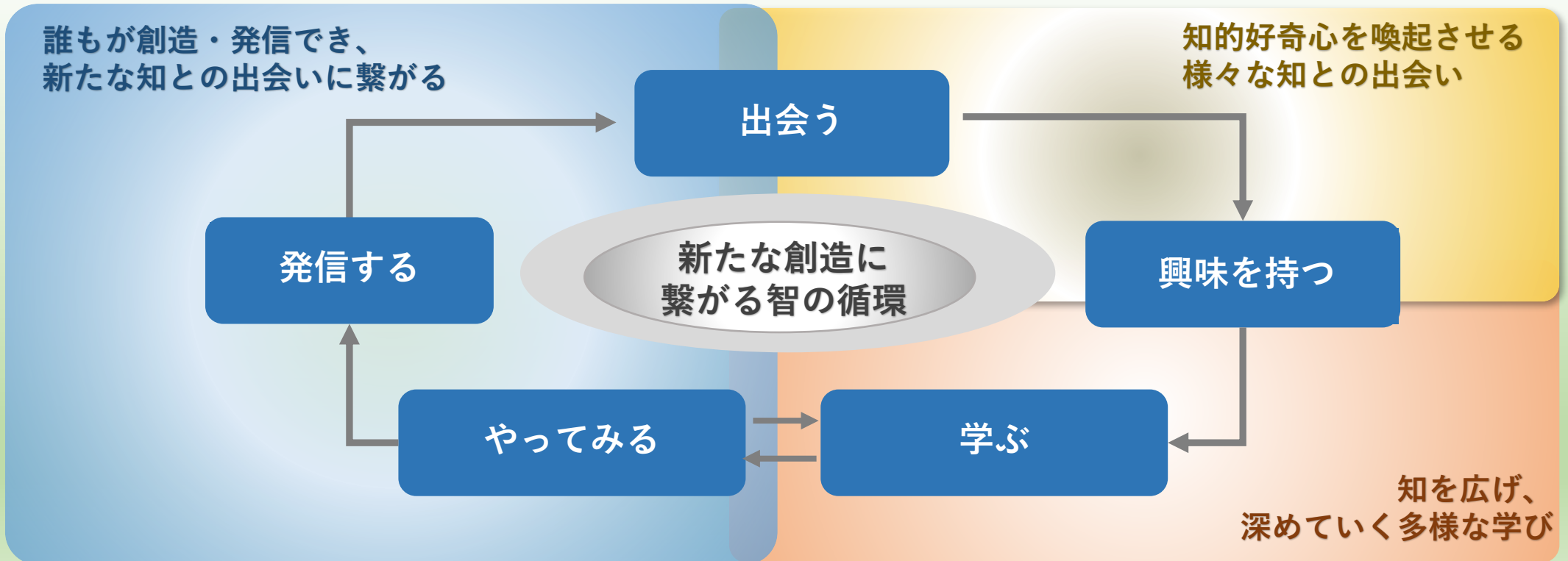
学ぶ⇔やる

学んだことを図書館にある様々なツールを活用して創作。創作を通じて出た疑問を調べるなど、試行錯誤する

発信する→出会う

試行錯誤の経て生み出した学びの成果を集積・発信。それをみた人が新たな知と出会う

緑と水に囲まれた居心地の良い環境が、創造性を引き出す



○ 活動エリアについて（イメージ）

各将来像から想定されるエリアについては、以下を想定

◆ 様々な知と出会うエリア（世界都市東京の「知の広場」となる図書館）

- ・多目的に利用可能で様々な知と出会うオープンスペース
 - ・江戸・東京の文化を発信していくスペース
 - ・デジタル技術を活用した展示等、様々な展示ができるスペース
- 等

◆ 学びのエリア（知を広げ、学びを深められる図書館）

- ・充実した開架スペース
 - ・他者とディスカッションができる区切られたスペース
 - ・集中して調査・研究ができるスペース
 - ・1人で本を読んだり、話したり、くつろいだりできる多様な閲覧席
 - ・長時間滞在を可能にする飲食可能なスペース
- 等

◆ 自然を感じられるエリア（自然と調和した緑と水の憩いの図書館）

- ・自然を感じながら休憩できるカフェ
 - ・屋外とシームレスに繋がるエントランス空間
 - ・プログラムに合わせてレイアウトを変更できる可変的なスペース
- 等

◆ 創造・発信エリア（誰もが創造・発信が生み出せる図書館）

- ・演技や演奏が可能なスタジオ
 - ・撮影や編集、画像加工ができるスペース
 - ・ものづくりができるスペース
 - ・調理が可能なスペース
 - ・子供が遊びながら知的な活動に触れられるスペース
 - ・創作活動や研究活動に必要な物品を購入できるスペース
 - ・利用者の作品を展示可能なスペース
 - ・多目的に利用可能で分割可能なホール
- 等

その他、資料保存のためのスペースや、管理運営に必要なスペース、共有スペースを見込む

施設規模等について（想定）

施設規模：新たに付加する機能や収蔵能力の確保のため、既存規模から拡大することを念頭に、約40,000㎡程度を上限として、検討を進めていく（現状は23,196㎡）

収蔵能力：長期にわたって資料を幅広く収集・保存していく必要があるため、約340万冊程度が必要と想定（現状約208万冊）
開架冊数については、本との出会いを誘発させるため、既存規模から更に充実（現在は約35万冊）

閲覧席数：約1,800席程度が必要と想定（現状は932席（スツール席含め1,066席））

管理運営の在り方：レファレンスや選書等、従来の図書館が提供してきたサービスは都の直営、新たに付加する創造・交流機能については、提案内容を効果的に実現できるよう、例えば指定管理者制度等、民間活力を活用してサービスを展開することも想定

整備の方向性：まちづくりの他機能との連携を図っていくため、まちづくりと一体で整備し、図書館は整備後に買取を想定（区分所有を想定）

2 基本方針案の構成について

1 これまでの検討経緯

- ・都立中央図書館の在り方、神宮前五丁目地区まちづくり方針

2 新たな図書館が実現する将来像

3 図書館の将来像を実現するサービスや空間イメージ

※面積規模、収蔵能力、運営方法等含む

1 これまでの検討経緯

(1) 都立中央図書館の在り方及び神宮前五丁目地区まちづくり方針

- ・令和7年4月、新たな図書館のコンセプト及び新たに付加する3つの機能を示した「都立中央図書館の在り方」を策定
- ・また、同時期に、神宮前五丁目地区まちづくり方針では、図書館は、まちづくりの軸として様々な機能と相乗効果を発揮しながら、「智の創造拠点」の実現に寄与

都立中央図書館の在り方

＜新たな図書館のコンセプト＞

“Library for Creation (創造・交流図書館)”

＜新たに付加する機能＞

「知的好奇心を喚起し学びを深める」

「人々の創造や交流を生み出す」「多様な知を集積・発信」

3点の機能

① 知的好奇心を喚起し、学びを深める

③ 多様な知を集積・発信

新たな創造に繋がる
智の循環

② 人々の創造や交流を生み出す

従来の強み

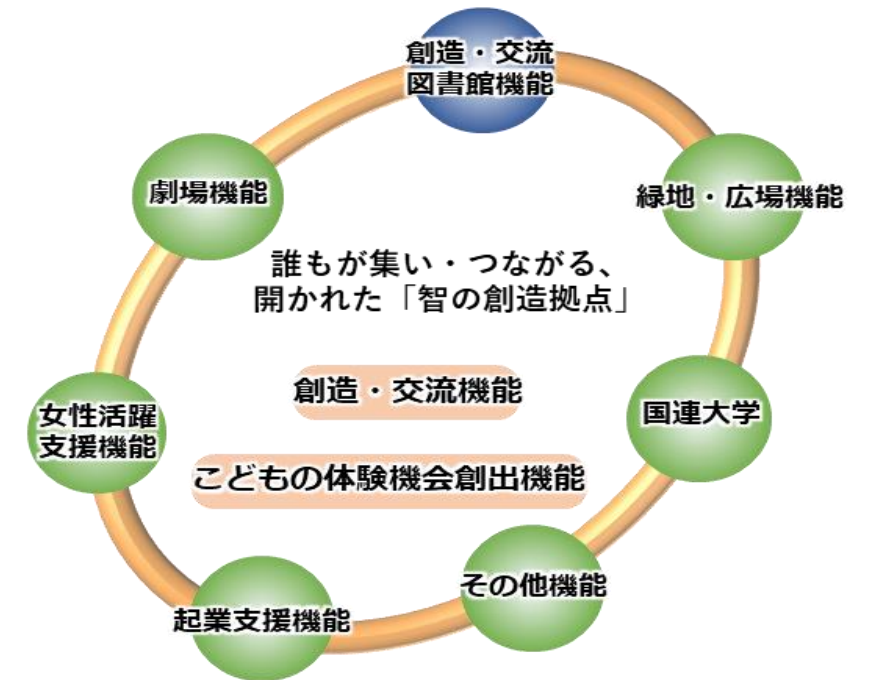
(江戸東京の貴重資料を含む豊富な蔵書、高度なレファレンス等)

新たな図書館では、従来の強みや特色を生かしながら、3点の機能を相互に作用・循環させることで新たな智の創造につなげていく

神宮前五丁目地区まちづくり方針

＜将来像＞ 誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」

＜軸となる機能＞ 創造・交流図書館機能



創造・交流図書館を軸として、その他の導入機能と連携し相乗効果を発揮しながら、まちの将来像を実現していく

(2) 移転予定地について

●神宮前五丁目地区について

新中央図書館の整備予定地である神宮前五丁目地区は、青山通りに面し渋谷駅から1km圏内に位置する交通利便性の高い地区であり、約45,000㎡の都有地を一体的に活用したまちづくりが想定されている



周辺環境

交通

- 渋谷駅、表参道駅（徒歩10分程度）
明治神宮前駅（徒歩15分程度）
- 青山通り、明治通り

商業

- MIYASHITA PARK、表参道ヒルズ等の複合商業施設
- アパレルショップ、雑貨店等が立ち並ぶキャットストリート

教育

- 国際連合大学（地区内）
- 青山学院大学

(3) 都立中央図書館の強みや特色

○ 国内公立図書館で最大級の豊富な蔵書と質の高いレファレンスサービスの提供

- ・原則1点のみ収集、蔵書数は230万冊を超える。レファレンスサービスは年間4万件超

○ 都民の課題解決のための充実したサービス

- ・都市・東京情報、ビジネス情報、法律情報、健康・医療情報の4つの分野について、重点的に情報を集めたコーナーを設置。また、多くの資料が開架で利用可能

○ 高い資料管理能力と国内随一の資料保全技術

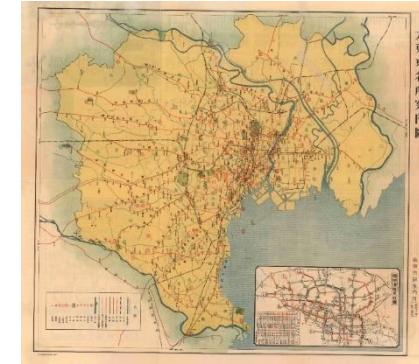
- ・調査に必要な書誌データを独自に整備するなど、高度な資料管理を実施
- ・公立図書館で唯一の資料保全室（製本室）と独立した資料保存部門を持ち、資料保存についての調査・研究や、劣化・損傷した資料の修復を行っている

○ 特徴的なコレクション

- ・江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に約24万3千点を特別文庫室に所蔵
- ・全国の県史、市史、町村史等の地方史を多数所蔵し、美術全集や展覧会目録なども約7万5千冊所蔵
- ・海外資料に関しても幅広く所蔵（洋書約19万8千冊、中国語図書約7万9千冊など）

○ デジタル技術の活用

- ・「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYOアーカイブ）」や電子書架（Digital BookShelf）、AIを活用した資料探索支援など、デジタル技術を活用し誰もが必要な情報に辿り着ける環境を整備



『大東京名所案内圖』



『江戸御城御殿守正面之絵図』



東京都立図書館デジタルアーカイブ

2 新たな都立中央図書館が実現する将来像

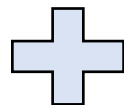
(1) 新たな図書館の整備に向けた検討

- ・新たな都立中央図書館における具体的なサービス内容や施設等、さらにまちづくりとの連携について、専門的な見地から意見を聴取するため、「新たな都立中央図書館整備に係る有識者会議」を設置
- ・有識者からの検討の視点や、まちづくりにおける重要な視点を踏まえながら、方向性を検討

有識者からの主な視点

- | | | | |
|------------------------|--------------|---------------|---------------|
| ✓ 世界都市東京の図書館 | ✓ 最先端のデジタル技術 | ✓ 多様な学びができる | ✓ 希少な自然環境を生かす |
| ✓ 江戸東京の歴史・文化 | ✓ 230万冊の本の活用 | ✓ 誰もが創作・発信できる | ✓ 開かれた憩いの空間 |
| ✓ 産業界、学术界、観光客等多様な人々が参画 | | ✓ 利用者同士の交流を生む | |

まちづくりの重要な視点



**「共創」により
新たな価値を生み出す**

導入する各機能の特性等
(特に都立中央図書館)を生かし
ながら、共創を基本とする

**多様な過ごし方を
選択できる「仕掛け」**

一人ひとりの興味や関心に合わせ
た、学び、体験、挑戦、気づき、
創造・交流等が生まれる場を整備

**柔軟な対応ができる
「余白」を導入**

能動的な創造・交流活動を
誘発させるため、作りこみすぎず
サービスを供与しすぎない

**時代の変化やニーズに
柔軟に対応する「仕組み」**

時代の変化やニーズに柔軟に対応
できる建築計画・運営とする

(2) 新たな図書館が目指す将来像について

- ・ 神宮前五丁目地区まちづくりの軸として役割を果たし、コンセプトである「**Library for Creation**」を実現していくため、新たな図書館が目指す将来像を整理
- ・ 世界都市である東京の図書館として、**様々な知と出会える、学びを深められる、自然を感じられるリラックスした空間で、誰もが創造活動に取り組める場所を形成し、人々の創造性を育む**

【4つの将来像】

世界都市東京の「知の広場」となる図書館

- ・ まちの**機能との連携**や産業界・学术界・観光客等、東京に集まる多様な人々との**共創**により、様々な**知との出会い**や**交流**を促進
- ・ 最新のデジタル技術を用いながら、中央図書館の**所蔵資料**を活用し、**江戸・東京の歴史文化**を伝達
- ・ 世界都市東京にふさわしいシンボリックな図書館

知を広げ、学びを深められる図書館

- ・ **一人一人の興味や関心**に合わせた、**多様な学び**ができる**仕掛け**を備えた図書館
- ・ 専門的な知識に基づくレファレンスサービスの提供により、課題解決を支援
- ・ 都内の区市町村立図書館との連携協力や、**デジタル技術**を活用したサービスにより、遠方からでも所蔵資料にアクセス可能

自然と調和した緑と水の憩いの図書館

- ・ 緑地や琵琶池、敷地内の高低差等、渋谷駅周辺で当地区が持つ**貴重な自然環境**を生かし、人々が**憩い集える**
- ・ 人々が**気軽に立ち寄る**ことができ、**開かれた空間**で居心地良く**リラックス**して過ごせる
- ・ **可変的で柔軟性のある、余白を持った空間**づくり

誰もが創造・発信が生み出せる図書館

- ・ **子供から大人、障害者**など、**誰もが**多様な創作に取り組むことができ、その成果を図書館で**発信**できる
- ・ **時代の変化**や**ニーズ**に合わせ、デジタル技術サービスを提供できる**仕組み**を備える

Library for Creationと将来像との関係について

- ▶ 新たな図書館では、人々に知との出会いや学びを提供するとともに、クリエイションを引き出し誰もが創造・発信できる空間・設備を備えることで、コンセプトであるLibrary for Creationを実現していく

“Library for Creation” (創造・交流図書館) を実現

将来像がもたらすクリエイション

「様々な知と出会い、
クリエイションを広げる」

「学びを通じて、
クリエイションを深める」

「居心地の良い空間が
クリエイションを引き出す」

「誰もがクリエイション
できる」

将来像

世界都市東京の
「知の広場」となる図書館

知を広げ、学びを
深められる図書館

自然と調和した
緑と水の憩いの図書館

誰もが創造・発信を
生み出せる図書館

付加する
3つの機能

①知的好奇心を喚起し、学びを深める ②人々の創造や交流を生み出す ③多様な知を集積・発信

+

従来の強み

江戸東京の貴重資料を含む豊富な蔵書、司書の高度な知識に基づくレファレンス、国内随一の資料保全技術 等

将来像に基づき提供するサービスや空間（イメージ）

世界都市東京の「知の広場」となる図書館

（１）まちの機能との連携や産業界・学术界・観光客等、渋谷に集まる多様な人々との共創等により、様々な知との出会いや交流を促進

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 劇場の公演内容に合わせた企画展示、国連大学とのワークショップ、はたらく女性の社外メンター講演、スタートアップ企業による最先端技術のデモンストレーションなど、神宮前五丁目地区のまちの様々な導入機能による連携プログラムに参加
- ・ VRなどのデジタル技術を用いた五感で感じる絵本の世界、本の世界を音楽で表現するコンサートなど、多様な体験ができるプログラムに参加
- ・ 海外図書館や大使館との連携イベント等に参加

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 様々なプログラムが展開できるオープンなスペースを設け、そこで神宮前五丁目地区のまちに導入される様々な機能（劇場機能、起業支援機能等）、研究機関、企業、教育機関等と連携した企画を開催
- ・ 五感を刺激する様々なプログラムが提供できる空間や設備を整備

（２）所蔵資料を活用し、江戸・東京の歴史文化を伝達

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 江戸・東京関連の貴重資料のデジタル展示を閲覧

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ VRやARなど最新のデジタル技術を用い、江戸東京関連の貴重資料を提供

（３）世界都市東京にふさわしいシンボリックな図書館

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 魅力的な外観や内観に興味関心が湧き、観光名所として訪れたいくなる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 東京の新たなランドマークとなる、特徴的で魅力的な建築デザインとする
- ・ デザイン性と利便性を兼ね備えた施設



出典：ヘルシンキ中央図書館 公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP

(1) 一人ひとりの興味や関心に合わせ、多様な学びができる仕掛けを用意

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 司書による企画展示やテーマ別配架等を見て、思いがけない本と出会い、新たな発想や発見が浮かぶ
- ・ 静かに学ぶ、ラーニングコモンズで相談したりディスカッションするなど、多様な学び方ができる
- ・ 探している本の取り出しや複写など、図書館サービスが快適に利用できる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 見る人にインスピレーションを与える、時世を捉えた企画展示や、新たな興味が湧くテーマでの配架
- ・ 一人で集中する、仲間と話をする、くつろげる等、多様な形態の閲覧席
- ・ 出納、閲覧、複写をスムーズに行える動線やバックオフィスを構築

(2) 専門的な知識に基づくレファレンスによる課題解決支援

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ 司書によるレファレンスサービスにより、課題解決のきっかけを得られる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 司書による高度なレファレンスサービスや、内容に応じた専門機関等への紹介を行い、来館者の課題解決をサポート
- ・ 都内区市町村立図書館への協力貸出など、地域全体での資料や情報、技術の共有により、都民の課題解決に寄与
- ・ 司書の専門性を高めるための様々な研修を実施

(3) デジタル技術を活用した非来館サービスの充実

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・ デジタル技術を活用し、資料に遠隔地からいつでもアクセスできる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・ 貴重資料等のデジタル化やデジタルアーカイブ等の強化
- ・ オンラインでのレファレンス対応の強化や、ロボットを活用して図書館内の見学ができる等、来館しなくとも、図書館を体感できる環境を整備



館外から閲覧可能なデジタルブックシェルフ、デジタルアーカイブ等

(1) 緑地や琵琶池等、渋谷駅周辺では貴重な自然環境を生かすとともに、気軽に立ち寄れる、開かれた居心地良い集える場

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・自然を感じられる空間でリフレッシュできる
- ・緑に囲まれた落ち着いたカフェやレストランで、のんびりできる
- ・自然を眺めながらゆっくり読書ができる
- ・「迎え入れられている」「開放的である」と感じ、思わず図書館に入りたくなる
- ・神宮前五丁目地区のまち中のあらゆる場所で、スマホ等でイベントに関連した本の一節に触れ、関心が深まる
- ・様々なルートで図書館にアクセスでき、その時その時で違う気分が1日を過ごすことができる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・琵琶池周辺の自然を感じられるくつろぎの空間の演出
- ・緑を眺めながら休憩をしたり、読書をしたりできるカフェ等を配置
- ・図書館を目的地としない来訪者もふらっと立ち寄れる居心地の良い、屋外とシームレスにつながる空間
- ・まちの他機能でもデジタル技術を使い、図書館の情報を発信

(2) 可変的で柔軟性のある、余白を持った空間

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・参加するプログラムに合わせて、多様な使い方ができる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・様々な活動が可能となるオープンなイベントスペースや展示スペースを設ける
- ・利用者の活動や提供するプログラムに合わせてレイアウトを変更できる可動性のある什器や壁にする

(1) 時代の変化やニーズも踏まえながら子供から大人、障害者など、誰もが新たに創作できる

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・江戸や世界のレシピ本を再現した料理や、神宮前五丁目地区に新たに整備される劇場の公演内容にちなんだメニューを作ったり食べたりできる
- ・江戸時代の遊び道具を活用し、楽しみながら文化や言葉に触れられる
- ・撮影や動画編集など、デジタル機材を使い創作ができる
- ・読む、見る、触る、聞く等、様々な形で本に触れられる
- ・子供や障害者等、利用者の特性に合わせて様々なプログラムが体験できる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・すべての人が、演技・演奏・撮影・編集・工作・調理等、幅広い創作活動ができる環境を整備
- ・デジタル技術も活用し、子どもたちの興味・関心が見つかるきっかけとなるような遊びを通じた様々な体験を提供
- ・画材、文房具、楽器関連等、創作活動等に必要な物品が調達できるショップ等を設ける

(2) 誰もが様々な形で発信・発表ができる場

【利用者の活動イメージ（例）】

- ・おすすめ本を紹介したり、創作の成果品を展示したり、普段発表する機会が少ない人も気軽に発信できる
- ・3Dプリンターで本のワンシーンを再現し、利用者同士でイメージの違いを伝え合う
- ・学んだ成果や創作したものを残すことができる

【提供するサービスや必要な設え】

- ・作品や研究成果等の展示・発表や商品の体験会等ができる空間を提供
- ・コンテンツの規模や内容に応じ、広さや座席形態を調整できる空間を整備
- ・利用者の学びの成果をアーカイブできる環境を用意
- ・利用者の図書館での活動が自然と他の来館者の目に見える視認性の高い空間

利用者がCreationを生み出す行動プロセス（イメージ）

知と出会う→興味を持つ

様々な知との出会いをきっかけに、知りたい、やってみたいというインスピレーションが喚起される

興味を持つ→学ぶ

自身の興味のある領域やテーマを見つけ、人との対話や図書館にある様々な知を活用し、学びを深めていく

学ぶ⇔やってみる

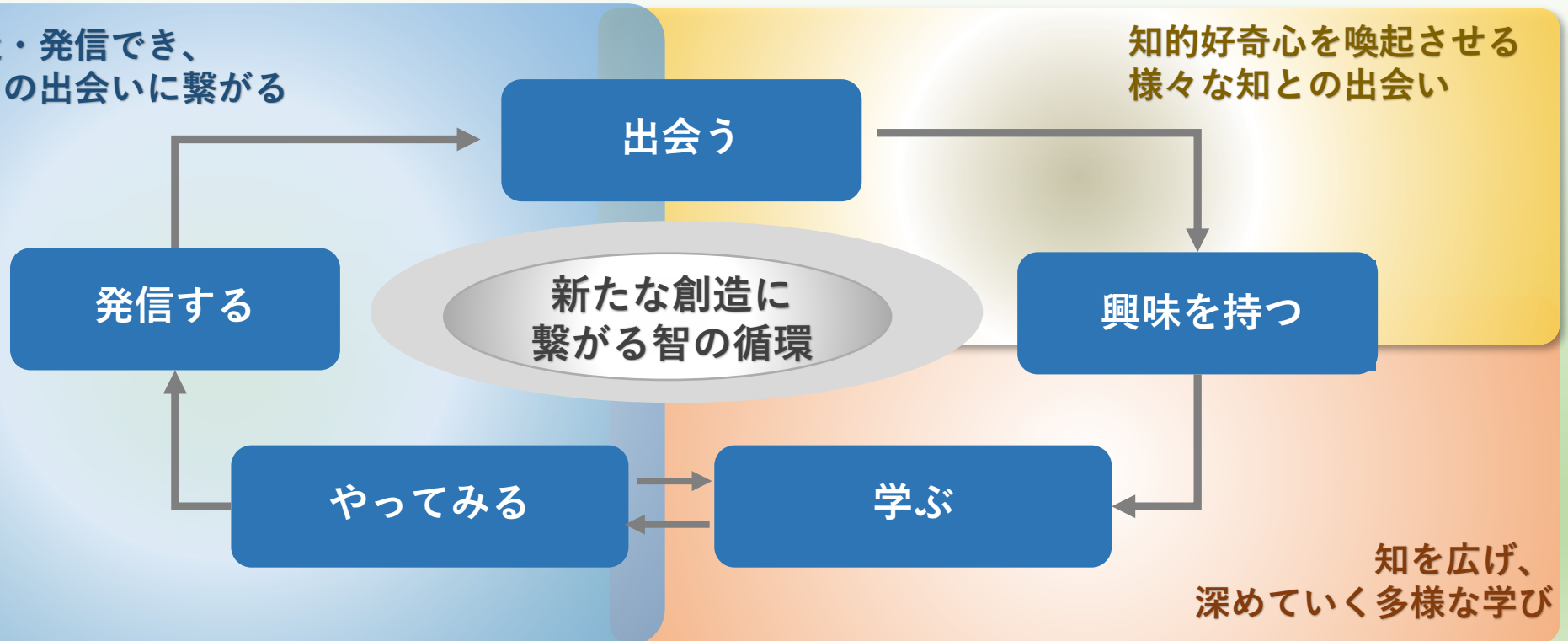
学んだことを図書館にある様々なツールを活用して創作。創作を通じて出た疑問を調べるなど、試行錯誤する

発信する→出会う

試行錯誤の経て生み出した学びの成果を集積・発信。それをみた人が新たな知と出会う

緑と水に囲まれた居心地の良い環境が、創造性を引き出す

誰もが創造・発信でき、
新たな知との出会いに繋がる



○ 活動エリアについて（イメージ）

各将来像から想定されるエリアについては、以下を想定

◆ 様々な知と出会うエリア（世界都市東京の「知の広場」となる図書館）

- ・多目的に利用可能で様々な知と出会うオープンスペース
 - ・江戸・東京の文化を発信していくスペース
 - ・デジタル技術を活用した展示等、様々な展示ができるスペース
- 等

◆ 学びのエリア（知を広げ、学びを深められる図書館）

- ・充実した開架スペース
 - ・他者とディスカッションができる区切られたスペース
 - ・集中して調査・研究ができるスペース
 - ・1人で本を読んだり、話したり、くつろいだりできる多様な閲覧席
 - ・長時間滞在を可能にする飲食可能なスペース
- 等

◆ 自然を感じられるエリア（自然と調和した緑と水の憩いの図書館）

- ・自然を感じながら休憩できるカフェ
 - ・屋外とシームレスに繋がるエントランス空間
 - ・プログラムに合わせてレイアウトを変更できる可変的なスペース
- 等

◆ 創造・発信エリア（誰もが創造・発信が生み出せる図書館）

- ・演技や演奏が可能なスタジオ
 - ・撮影や編集、画像加工ができるスペース
 - ・ものづくりができるスペース
 - ・調理が可能なスペース
 - ・子供が遊びながら知的な活動に触れられるスペース
 - ・創作活動や研究活動に必要な物品を購入できるスペース
 - ・利用者の作品を展示可能なスペース
 - ・多目的に利用可能で分割可能なホール
- 等

その他、資料保存のためのスペースや、管理運営に必要なスペース、共有スペースを見込む

施設規模等について（想定）

施設規模：新たに付加する機能や収蔵能力の確保のため、既存規模から拡大することを念頭に、約40,000㎡程度を上限として、検討を進めていく（現状は23,196㎡）

収蔵能力：長期にわたって資料を幅広く収集・保存していく必要があるため、約340万冊程度が必要と想定（現状約208万冊）
開架冊数については、本との出会いを誘発させるため、既存規模から更に充実（現在は約35万冊）

閲覧席数：約1,800席程度が必要と想定（現状は932席（スツール席含め1,066席））

管理運営の在り方：レファレンスや選書等、従来の図書館が提供してきたサービスは都の直営、新たに付加する創造・交流機能については、提案内容を効果的に実現できるよう、例えば指定管理者制度等、民間活力を活用してサービスを展開することも想定

整備の方向性：まちづくりの他機能との連携を図っていくため、まちづくりと一体で整備し、図書館は整備後に買取を想定（区分所有を想定）